



市営バスで歴史散歩！



佐世保の歴史をたどる

「一日乗車券」で利用できる大宮町〜堺木、大宮町〜鹿子前棧橋、大宮町〜烏帽子岳、大宮町〜石岳動物園、大宮町〜弓張岳展望台の沿線に残る、佐世保の歴史を探してみよう。

「佐世保」といえば、市の発展のきっかけともなった佐世保港とそこから北に広がる九十九島の島々。この二つを望むことができる場所が「弓張岳展望台」です。鹿子前棧橋から遊覧船「パールクイーン」に乗り込み、間近に見る九十九島は、展望台からとはまた違った景色が広がります。

佐世保鎮守府の関連施設は今も多く残っています。近代化遺産として知られる「市民文化ホール（旧鎮守府凱旋記念館）」と、佐世保重工業（SSK）に残る「ジャイアント・カンチレバー・クレーン（二百五十トクレーン）」「赤レンガ倉庫群」は、今なお現役で使用されています。



SSK250トクレーン

鎮守府開庁から太平洋戦争終結までの間に亡くなった軍人が祭られている「東山海軍墓地（東公園）」と、今は使われていませんが「堺木減圧井」は、鎮

守府と佐世保の関係をj知ることができる場所です。



東山海軍墓地の東郷平八郎像

鎮守府開庁以前の佐世保の歴史を知る手掛かりはそう多くは残っていませんが、江戸時代には「平戸往還」が通り、「相神浦筋郡代役所」が置かれていました。江戸時代の終わりには平戸往還沿いの名勝地「平戸八景」の中で、「眼鏡岩」と「羅漢窟（龍神洞穴）」が紹介されています。羅漢窟のそばの「福石観音」には、奈良時代の高僧・行基が開帳したという伝説も残っています。

さらに二万年以上もさかのぼった旧石器時代にも佐世保には人が住んでいたことが、市内各地で発掘された遺物（島瀬美術センターに展示）から知ることができます。



豆粒文土器（泉福寺洞窟）

佐世保にはこのほかにも歴史を感じることができる施設や遺跡がまだまだ残っています。自分だけの「歴史散歩」コースを作ってみませんか（三、四ページに佐世保駅前発着のモデルコースと時刻表を掲載）。

歴史散歩モデルコース①バス時刻表（土・日曜、祝日版）

| 【乗車バス停⇒下車バス停】 | 【モデルコース】 |
|------------------------------------------|---------------|
| 9:49 佐世保駅前 ⇒ 京町 矢峰行き（大野・日野方面） | 平戸往還（峰坂町） |
| 10:36 京町 ⇒ 福石観音前 木場入口行き（黒髪・天神方面） | 福石観音 ⇒ 羅漢窟 |
| 11:16 福石観音前 ⇒ 大宮町 下原橋行き（黒髪・天神方面） | 東山海軍墓地（昼食） |
| 12:20 大宮町 ⇒ 島瀬町 大野行き（矢峰・日野方面） | 島瀬美術センター |
| 12:57 島瀬町 ⇒ 弓張岳展望台 弓張岳展望台行き | 弓張岳展望台 |
| 13:32 弓張岳展望台 ⇒ 宮田町 佐世保駅前行き | |
| 13:57 宮田町 ⇒ 堺木 矢峰行き（大野方面） | 堺木減圧井 ⇒ 眼鏡岩 |
| 15:04 堺木 ⇒ 谷郷町 東浜行き（佐世保駅前方面） ↓（徒歩） | 相神浦筋郡代役所跡 |
| 15:37 松浦町国際通り ⇒ 鹿子前棧橋 快速・鹿子前棧橋行き | 九十九島（パールクイーン） |
| 17:05 鹿子前棧橋 ⇒ 元町 SSK経由佐世保駅前行き | 市民文化ホール |
| 17:37 元町 ⇒ 佐世保駅前 佐世保駅前行き | 佐世保駅前 |

※交通事情によりバスの時刻は前後することがあります。

市営バス1日乗車券

総合グラウンドプール開場期間中は、1日乗車券の利用範囲が総合グラウンドプールまで拡大し、プール入場料の割引特典などもついています。

実施期間 6月22日（日）～8月31日（日）
 運賃 中学生以上500円、小学生250円
 販売所 駅前バスセンター、島瀬定期券売場、黒髪営業所、矢峰営業所、佐世保観光情報センター、市営バス車内
 割引特典 えぼしスポーツの里（施設利用料）、亜熱帯動物園（入園料）、西海パールシーセンター（入館料）、九十九島遊覧船（乗船料）、総合グラウンドプール（入場料）

交通局業務課 ☎25-5111

九州のバス時刻表

右のQRコードを使って携帯電話でバスの時刻を調べることができます。ご利用ください。

交通局業務課 ☎25-5111



佐世保が「市」になってこととして百六十年。そのほるか昔から人々はこの地で暮らし、歴史を刻んできました。この佐世保の歴史を皆さんはこのくらいご存知ですか？

世界最古（約二万二千年前）と言われている「豆粒文土器」が出土し、他市に類を見ない多くの洞穴遺跡があること。

平安時代の終わりに「松浦党」と呼ばれる武士集団が現れ、佐世保の地を支配したこと。

江戸時代に平戸藩主が参勤交代で通った「平戸往還」で、江戸まで道が続いていたこと。

明治時代に鎮守府の設置が決まったことと軍港を中心に都市が発達し、「村」から一気に「市」になったこと。

終戦後「軍港」から「平和商港」へと歩みを変え、九十九島などが西海国立公園に指定されたことなど。

佐世保のまちには多くの歴史が残っています。

今回の特集は市営バスの一日乗車券を使って歴史の跡をたどりながら、ちょっと駆け足でまちを歩く「もつひとつ」の歴史散歩です。もつひとつ夏休み。家族や友達と一緒に佐世保のまちを歩いてみませんか。



「弓張岳展望台」



「市民文化ホール」の階段



「平戸往還」峰坂町の急坂